

都市計画課 予算書P127 金額 2,303千円

目的

石下駅周辺における利便性の確保や、東部拠点地区における未利用地の利活用が課題となっており、駅周辺や公共施設が集積する区域での拠点機能の充実や一体性の創出を図ることが必要となっている。

今後のまちづくりの方向性を明確にするため、駅前広場・庁舎跡地・未利用地を含み、地区全体の将来像と整備内容を検討する。

内容

石下駅周辺地区は、県事業である石下駅中沼線整備事業と歩調を併せ計画を推進していく。東部拠点地区と共に、拠点形成についての市民意識の醸成や民間事業者の参画を促進するため、基礎情報の把握から将来ビジョン案の検討を進める。

【将来ビジョン案の策定】

- 基礎情報の把握
- 民間事業者・市内団体等へのヒアリング
- 将来ビジョン案の検討
- ワーキング支援